

主要な経営指標の推移

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
経常収益	2,977,941 千円	2,779,698 千円	2,968,614 千円	3,037,698 千円	2,722,183 千円
経常利益(損失△)	△392,577 千円	259,574 千円	△412,798 千円	△2,721,448 千円	242,864 千円
当期純利益(純損失△)	△292,349 千円	240,210 千円	△490,642 千円	△2,819,067 千円	519,026 千円
出資総額	369 百万円	369 百万円	368 百万円	368 百万円	367 百万円
出資総口数	739,028 口	738,253 口	737,756 口	737,792 口	734,859 口
純資産額	13,245 百万円	13,509 百万円	12,935 百万円	9,666 百万円	10,657 百万円
総資産額	147,100 百万円	150,177 百万円	149,709 百万円	148,639 百万円	145,330 百万円
預金積金残高	131,873 百万円	134,475 百万円	132,433 百万円	134,053 百万円	132,890 百万円
貸出金残高	76,525 百万円	75,055 百万円	73,698 百万円	74,566 百万円	68,154 百万円
有価証券残高	33,245 百万円	35,554 百万円	35,988 百万円	34,673 百万円	37,482 百万円
単体自己資本比率	22.31 %	21.83 %	21.37 %	16.45 %	18.34 %
出資に対する配当金 (出資1口500円当たり)	年 4.0 % 20 円	年 4.0 % 20 円	年 4.0 % 20 円	年 4.0 % 20 円	年 4.0 % 20 円
職員数	138 人	134 人	136 人	135 人	133 人

※単体自己資本比率は、「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

また、平成20年度より、自己資本比率規制の一部を弾力化する特例(平成20年金融庁告示第79号)に基づき、「その他有価証券の評価差損」を基本的項目から控除していません。なお、「その他有価証券の評価差損」の額(平成20年度524百万円、平成21年度36百万円)を控除して計算した場合には、自己資本比率は平成20年度15.60%、平成21年度18.28%となります。

資金運用・調達勘定の平均残高、利息、利回り

(単位: 百万円・%)

科 目	平成20年度			平成21年度			
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り	
資金運用勘定	預 け 金	42,098	439	1.04	43,260	388	0.89
	金融機関貸付等	—	—	—	—	—	—
	買入金銭債権	—	—	—	—	—	—
	有 価 証 券	36,567	452	1.23	35,922	441	1.22
	貸 出 金	72,939	1,916	2.62	70,326	1,691	2.40
	そ の 他	256	10	4.00	413	0	0.00
	資金運用勘定計	151,861	2,819	1.85	149,922	2,520	1.68
資金調達勘定	預 金 積 金	138,661	403	0.29	138,031	288	0.20
	譲 渡 性 預 金	1,003	4	0.45	820	2	0.33
	借 用 金	12	0	0.37	4	0	0.21
	そ の 他	—	—	—	—	—	—
	資金調達勘定計	139,676	408	0.29	138,856	291	0.20

※「資金運用勘定計」は、無利息預け金の平均残高(平成20年度6百万円、平成21年度6百万円)を控除して表示しております。

※資金調達勘定において金銭の信託運用見合額はございません。

※「資金運用利回り」は、貸出金や余裕金等の運用収益力を表わす利回りで資金運用の成果を示します。

※「資金調達利回り」は、有利子負債の直接調達コストを表わし、預金や借入金等の資金調達に直接要した費用の利回りです。

※当金庫は国内業務のみであり、国際業務部門の取扱いはございません。